

自己評価公表シート

令和4年度 社会福祉法人徳風会 めぐみ保育園

(実施期間：令和3年4月1日～令和4年3月31日)

1、本園の保育目標

健康で安全な暮らしのできる子 自分のことは自分でできる子
友達と仲良く遊べる子 自分から進んで取り組み工夫する子 心情豊かな子

2、本年度、重点的に取り組む目標・計画

すべての課題の基となる人材の確保
保育の質の確保のための人材の育成
勤務環境改善に向けての業務の削減

3、評価項目と取り組みの状況

評価項目	取り組み状況
保育計画の計画・実施に関して、保育士間の共通理解を持つ	保育目標のもと、保育の計画に当たっている。 学年別会議等で共通理解を持つよう努めている
子どもの姿を的確につかみ、保育に活かす	子どもの生活の実態に合わせ保育を行っている。 リハセンター等の助言を受けている。
教育の質の向上のために、様々な研修に参加する。また、園内研修を実施する	県・市が行う研修に可能な限り参加する。 各年齢別の会議、給食会議等を行なっている。
保護者の思いの把握に努め、適切に対応する。	保護者からの様々な意見を真摯に受け止め、改善すべきことについては対応をしている。保護者参加の行事等で、園の考えを伝えるよう努めている。

4、項目別の評価の集計

* 評価を行い、上記のような結果が出た。具体的には、下記のような意見が出された。

項目	よくできている	まあまあできている	あまりできていない	できていない
保育の計画性・共通理解	1/6	5/6		
計画に基づく保育の実施		5/6	1/6	
計画・実施の反省・評価	1/6	5/6		
子どもの姿の把握	4/6	2/6		
保護者とのかかわり	1/6	5/6		
関係機関とのかかわり	1/6	2/6	1/6	2/6
研修への参加・実施	1/6	3/6	2/6	

5、今後取り組むべき課題と、取り組みの成果

項 目	具体的な課題の内容
保育計画の計画・実施 に関して、保育士間の 共通理解を持つ/ 子どもの姿を的確に つかみ、保育に活かす	<p>保育士間で活動について色々と話し合う時間を持って、新しい取り組みや活動内容を工夫したり発展させたりできたら、より良い保育に繋がっていたのではないかと思います。日々の業務に忙殺されてしまっていたが、多方面への知識を得る努力をしていきたいと思う。今後は、保育士間の連携や学びの時間を意識して取り組んでいきたい。</p> <p>複数担任クラスということもあり、こども一人一人の育ちや援助の方法を小まめに話し合い、共通理解の元、保育を実施することが出来た。反省も小まめに行い、その都度計画を修正することで、より一人一人に合った保育が行えたと思う。</p> <p>計画を立てて保育を実施しているが、その準備が足りずに、保育をしながら同時に準備を進める時が度々あったので、しっかりと計画性を持って取り組めるようにしていきたい。</p> <p>保育の計画は立てているが、計画に基づいた保育を十分に実施出来ない時があった。一つ一つの計画をしっかりと確認しながら、保育を実施しなければならないと感じた。</p>
教育の質の向上のため に、様々な研修に参 加する。また、園内研 修を実施する	<p>関係機関との関りはほとんど持つことが出来なかった。必要に応じて積極的に繋がっていけるよう、どのような機関があるのかを知りたい。</p> <p>研修については、園内で実施したものは参加できているが、園外での研修については参加が難しかった。機会があったら参加できるよう調整していきたい。</p>
保護者の思いの把握 に努め、適切に対応す る。	<p>離乳食の進め方や日ごろの様子を、保護者に細かく伝えるよう心掛け、信頼関係を築けるよう努力した。</p>

6、次年度に向けて

各クラス、各保育士は、限られた環境の中で懸命に保育に取り組んでいることが分かる内容だと思う。じっくりと余裕を持って保育に臨み、課題に取り組む時間がもっと取れるような環境整備が必要だと改めて思う。また、長い課題であるが、多くの職員が必要な研修を受ける機会をもっと持てるよう、リモートでの研修を活用するなど、次年度も取り組みたい。

なお、出生数の減少によって、就学前児童は大きく減っていることがニュースになっているが、保育士養成校で学ぶ学生の減少も顕著である。安定的な職員の採用とともに、長く働くことが出来る職場環境の整備が絶対に必要なことであると思う。継続的に取り組みたい。